

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年10月19日（木）

2 確認箇所

K4タンクエリア、多核種移送設備建屋、5、6号機敷地護岸ヤード、
5、6号機東側電気品建屋

3 確認項目

多核種除去設備等処理水希釈放出設備の巡視点検の状況

4 確認結果の概要

多核種除去設備により、汚染水から放射性物質（トリチウムを除く）が安全に関する規制基準を確実に下回るまで浄化されていることを確認した水（以下「ALPS処理水」という。）は、トリチウム濃度が規制基準を厳格に遵守するだけでなく、政府の基本方針に基づき、 $1,500\text{Bq/L}$ 未満を満足する濃度になるよう、海水で大幅に希釈され、海洋へ放出されている。10月3日から第2回目の放出が開始されている。

ALPS処理水希釈放出設備については、免震重要棟に設置されている監視・制御装置において、設備の運転状況や処理水濃度の監視、ポンプや弁の制御が行われており、現場においても東京電力職員が巡視点検を毎日実施し、設備の状態が確認されていることから、その状況を確認した。（図1）
（前回確認：[令和5年9月8日](#)）

➤ ALPS処理水希釈放出設備の巡視点検

東京電力社員2名がチェックシートを用い、ALPS処理水希釈放出設備について、巡視点検を実施した。巡視点検した設備は以下のとおりであり、異常は確認されなかった。

○K4タンクエリア

- ・ALPS処理水サンプルタンクの現場盤、置換用ろ過水供給タンク、屋外受入バルブユニット（写真1）

○多核種移送設備建屋

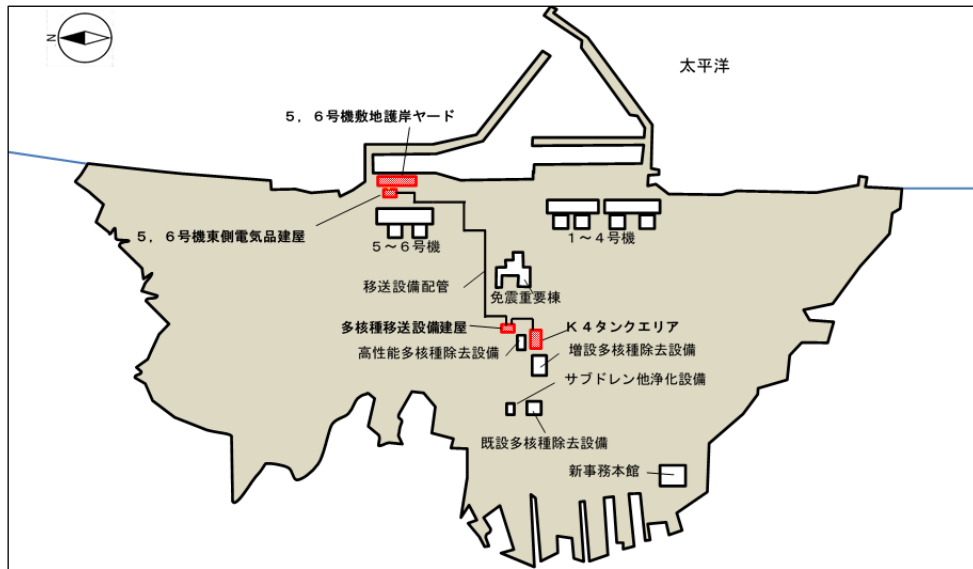
- ・ALPS処理水移送ポンプ、ALPS処理水移送配管、放射線モニタ、移送設備に係る電源盤等（写真2）

○5、6号機敷地護岸ヤード

- ・海水移送ポンプ、海水移送配管、緊急遮断弁、サンプリングラック、上流水槽、下流水槽（写真3）

○5、6号機東側電気品建屋

- ・バルブユニットの状況、海水希釈設備に係る電源盤等（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
ALPS処理水サンプルタンクの現場盤



(写真1-2)
置換用ろ過水供給タンク



(写真1-3)
屋外受入バルブユニット



(写真 2 - 1)
ALPS 処理水移送ポンプ



(写真 2 - 2)
ALPS 処理水移送設備に係る電源
盤等



(写真 3 - 1)
海水移送ポンプ



(写真 3 - 2)
緊急遮断弁 2



(写真 3 - 3)
サンプリングラック



(写真4)
バルブユニット

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。